

横浜市現市庁舎街区活用事業
環境影響評価準備書に関する指摘事項等一覧

■事業計画について

項目	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取り扱い
施設配置計画	現時点で、人流の分析は行われているのか。 [1/26 審査会]	施設内での人流シミュレーションは行っていませんが、ルートの分散や広場を確保することで、密にならないよう配慮しています。 [1/26・3/2 審査会]	説明済 [3/2 審査会]
	建物の空調機能や性能についても配慮して欲しい。 [1/26 審査会]	配慮します。 [1/26 審査会]	説明済 [1/26 審査会]
交通計画	方法書段階よりも関連車両出入口が増えているが、どのような用途の出入口か。 [1/26 審査会]	北側は荷捌き用車両と施設利用車両、関連車両の出口を分けており、西側はバスの出庫ルートです。 [1/26 審査会]	説明済 [1/26 審査会]
	大型車両が出入り箇所、誘導員の配置を計画しているか。 [1/26 審査会]	必要に応じて当然配置します。 [1/26 審査会]	説明済 [1/26 審査会]
駐車場計画	電気自動車用の充電装置 1 台分について、台数を限定しない方が良いのではないかと。 [1/26 審査会]	現段階では 1 台分の計画ですが、需要に応じて変更していきます。 [1/26 審査会] 今後の需要増大等の状況に応じて、充電設備の拡充等を検討します。 [3/2 審査会]	説明済 [3/2 審査会]
緑化計画	樹木が健全に樹冠を拡張するための植栽基盤の配置について、考え方を教えて欲しい。 [1/26 審査会]	7～8 m 位の防風植栽等が十分に生息できる方法等を検討していきます。 [1/26 審査会]	説明済 [1/26 審査会]
施工計画	工事用車両の出入口 6 箇所のうち、同時に最大で幾つ使用するのか。 [1/26 審査会]	出入口を選んで施工しますが、計画の詳細が決まっておらず、現段階での同時稼働数は未定です。 [1/26 審査会]	説明済 [1/26 審査会]

■環境影響評価項目について

項目	指摘、質問事項等	事業者側の説明等	取り扱い
温室効果ガス	現時点の原単位で予測しているが、供用後の原単位はもっと下がることが十分見込まれ、実際の値は予測よりも下がることを反映してもよいのではないか。 [1/26 審査会]	予測では現在のものを使用していますが、将来的に原単位が下がれば排出 CO2 量も減少すると捉えています。 [1/26 審査会]	説明済 [3/2 審査会]
	準備書の修正内容どおり、確実に実行して欲しい。 [3/2 審査会]	(発言なし)	説明済 [3/2 審査会]
生物多様性	ユズリハやヤブニッケイ、シラカシ等も鳥を誘引する種としてスライドの文字色を工夫して欲しい。 [1/26 審査会]	準備書記載の出典資料から誘因性を基にスライドでは纏めました。 [1/26 審査会]	説明済 [1/26 審査会]
	ヤブツバキやサザンカは、人に影響を与える毒蛾の幼虫がつくことがあるので、植樹場所について検討して欲しい。 [1/26 審査会]	影響も考慮して樹種を選定していきます。 [1/26 審査会]	説明済 [1/26 審査会]
	横浜由来の樹種、苗を選定するように配慮して欲しい。 [1/26 審査会]	苗の入手時に配慮します。 [1/26 審査会]	説明済 [1/26 審査会]
廃棄物・建設発生土	アスベストについて、廃棄物では定量的に予測しているのに対して、大気質は非常に抽象的な記載になっているが、整合性についてどの様な考えか。 [1/26 審査会]	廃棄物は既存資料の原単位から算出しています、大気質は解体前に調査を行い使用の有無を確認しますので、当該記述としています。 [1/26 審査会]	説明実施 [1/26 審査会]
		アスベストについて、工事着手前に使用状況調査を行い、使用が確認された場合は、適切な措置を講じたうえで除去します。 [3/2 審査会]	説明済 [3/2 審査会]
大気質	建設機械に伴う二酸化窒素の影響割合「41.9%」は、大きい数字であるという認識のもとで取り組んで欲しい。 二酸化窒素の環境基準（日平均値：0.06ppm）は現況を悪化させないことが主旨であり、環境悪化を極力抑制する姿勢が見えるとよい。 [1/26 審査会]	建設機械が一斉稼働した場合の負荷の大きい状況での数字であり、これ以上の負荷を与えないよう十分配慮します。 [1/26 審査会]	説明実施 [1/26 審査会] 説明済 [3/2 審査会]

	<p>二酸化窒素の日平均値の年間98%値について、横浜市の環境目標値0.04ppmを意識した事業実施を強く要望する。 [3/2 審査会]</p>	<p>常時監視局のデータを確認しつつ、適切な環境保全目標を検討します。 [3/2 審査会]</p>	<p>説明実施 [3/2 審査会] 説明予定 [本日]</p>
	<p>アスベストの含有有無、調査結果と対策をできるだけ早期に知りたい、という御意見ではないのか。(上映会での市民質問) [3/2 審査会]</p>	<p>調査を進めているが(途中報告は行わず)、オリ・パラ後に調査を再開し、事後調査結果報告書に記載します。 [3/2 審査会]</p>	<p>説明済 [3/2 審査会]</p>
騒音			
振動			
地盤	<p>ディープウェル工法は、地下水位の著しい変動を回避する工法ではない。山留壁を十分に深く入れることで、地下水位の変動を回避する旨が分かるようにして欲しい。 [1/26 審査会]</p>	<p>掘削部の外周に剛性と遮水性の高い山留壁を構築し、地下水位を制御しながら掘削工事を行う旨が分かるように検討します。 [1/26 審査会] 山留壁からの湧出を防ぎ、周辺の地下水の変動を回避しながら地下掘削を行います。 [3/2 審査会]</p>	<p>説明実施 [1/26 審査会] 説明済 [3/2 審査会]</p>
電波障害			
日影			
風害	<p>ケース3(防風植栽あり)でもランク3が1か所あるので、最大限の環境保全措置を行う方針、姿勢で取り組んで欲しい。 [3/2 審査会]</p>	<p>防風植栽の他、更なる植栽(四季折々の魅力ある植栽)も行い配慮していきます。 [3/2 審査会]</p>	<p>説明実施 [3/2 審査会] 説明予定 [本日]</p>
安全(浸水)			
地域社会	<p>プロ野球開催日等で工事車両の走行時間や台数調整を行うことは、歩行者の安全面からも非常に重要であり、配慮は良いこと。 [1/26 審査会]</p>	<p>(発言なし)</p>	<p>検討済 [1/26 審査会]</p>
	<p>地点4(不老町)断面Bの右折の車両混雑度0.948は現状よりプラス0.422とかなり大きくなっており、右折レーン等の兼ね合いによっては、直進車線に影響が出るのではないかと。 [1/26 審査会]</p>	<p>右折滞留長について、若干不足しているため、右折レーンを引き直し延長する方向で、交通管理者と協議しています。 [1/26 審査会]</p>	<p>説明済 [1/26 審査会]</p>
	<p>歩行者のサービス水準について、横浜スタジアム等のイベント開催時の数値を基にしているか。 [1/26 審査会]</p>	<p>イベントは行われていない状態で予測しています。 [1/26 審査会]</p>	<p>説明済 [1/26 審査会]</p>

	(歩行者のサービス水準について) ライブビューイングアリーナの増加分を考慮しているか。 [1/26 審査会]	ライブビューイングアリーナの収容人数は考慮しています。 [1/26 審査会]	説明済 [1/26 審査会]
	(歩行者のサービス水準について) 横浜スタジアムの分が反映されておらず、予測数値以上になる機会があるので、十分な安全対策を講じて欲しい。 [1/26 審査会]	(発言なし)	検討済 [1/26 審査会]
	地点1～7の全地点で渋滞・滞留状況の現地調査が必要と考えるが、渋滞長調査を地点7(ハマスタ入口交差点)でしか行っていない理由は何か。 [3/2 審査会]	整理し次回以降に回答します。 [3/2 審査会]	説明保留 [3/2 審査会] 説明予定 [本日]
景観	既存樹木について、緑化計画図にはあるが、フォトモンタージュ写真に描かれているか。 [1/26 審査会]	フォトモンタージュは新植樹であり、敷地境界にまたがる既存樹木は反映していません。 [1/26 審査会]	説明済 [1/26 審査会]
文化財			事務局説明 [本日]

■事後調査について

項目	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取り扱い
地域社会	供用後の地域社会の歩行者混雑の事後調査について、今までの説明内容以外に、さらに非選定理由はあるか。 [1/26 審査会]	ペDESTリアンデッキの整備、建築物内のルート、横浜スタジアム側の歩道拡幅による歩道状空地の確保等、保全対策の実施状況を確認、報告します。 [1/26 審査会]	説明済 [1/26 審査会]

■その他

3月2日に御欠席された委員には、補足説明資料の確認を別途得ています。